

(再評価)

資料2-3(1)

確認結果

河川事業

再評価原案準備書説明資料

留萌川直轄河川改修事業

令和3年度
北海道開発局

◇留萌川直轄河川改修事業の総便益

- ⑤便益（洪水被害） 1,260億円 --治水経済調査マニュアル（案）より算出、現在価値化
- ⑥便益（残存価値） 7億円 --治水経済調査マニュアル（案）より算出、現在価値化

⑦総便益【B】 1,267億円（現在価値化） --⑦=⑤+⑥

※小数点以下を四捨五入しているため、各便益の合計値と、総便益は一致しないことがあります。

事業全体

◆費用便益比（B/C） 1,267億円 / 453億円 = 2.8

◆純現在価値（B-C） 1,267億円 - 453億円 = 815億円

◆経済的内部収益率（EIRR） 8.7%

※算出条件 整備期間：平成13年度～令和10年度（28年間） 評価対象期間：平成13年度～令和60年度（整備期間+50年間）

確認後：814億円

残事業

◆費用便益比（B/C） 868億円 / 62億円 = 14.0

※算出条件 整備期間：令和4年度～令和10年度（7年間） 評価対象期間：令和4年度～令和60年度（整備期間+50年間）

確認後：13.9

当面事業

◆費用便益比（B/C） 720億円 / 54億円 = 13.2

※算出条件 整備期間：令和4年度～令和9年度（6年間） 評価対象期間：令和4年度～令和59年度（整備期間+50年間）

確認後：12.5～15.3

感度分析

◆事業費（+10%～-10%）

◆工期（+10%～-10%）

◆資産（-10%～+10%）

残事業のB/C

12.7～15.5

13.9～14.0

12.6～15.3

事業全体のB/C

2.8～2.8

2.8～2.8

2.5～3.1

※B/C算定に用いている総費用及び総便益については、消費税相当額を控除しています。